

令和 7 年 8 月 1 日

各位

神奈川県森林協会
会長 高橋 昌和

令和 7 年度広葉樹利活用研修のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会の活動、運営につきましては、日頃格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、森林・林業行政の業務を担当する市町村職員、森林組合職員、県職員などを対象としました標記研修会をご案内しますので、ご参加ください。

記

- 1 日程 令和 7 年 9 月 5 日（金）13:30～16:30（開場 13:00）
- 2 会場 横浜情報文化センター 6 階 情文ホール オンライン併用（Z o o m）
- 3 内容 別紙 1 のとおり
- 4 申込方法
別紙 2 申込用紙をメールで送付、あるいは森林協会ホームページより応募フォームを送付。https://www.k-crk.com/m_ichiran.php
期限：8 月 29 日（金）まで
- 5 その他
申込者全員に後日、ご連絡します。連絡がない場合はお問い合わせください。

（	問合せ先 市町村林政サポートセンター 日高、藤澤 電話・FAX 046-240-0500 メール kanagawa-crk@poem.ocn.ne.jp	）
---	--	---

別紙 1

令和 7 年度広葉樹利活用研修企画書

1 背景

○広葉樹林の整備、活用

放置されている里山広葉樹林は生物多様性保全の観点からも整備する必要がある。整備により生産される広葉樹材や枝物などの活用の他、森林空間の活用などの取組も始まっている。

○広葉樹材の利活用

県内では以前から箱根細工、小田原漆器などに広葉樹材は使われてきたが、現在では県外の材が多い。最近では県産材の薪や学習机の天板へ利用や、きのこ菌床への利用の取組も出てきている。全国的には、海外からの輸入減少や価格高騰などにより、国内産の広葉樹材への期待が高まっている。

2 内容

広葉樹林整備の必要性を理解し、広葉樹林整備の出口として県内外の広葉樹材等の利活用の事例を紹介してもらう。その上で広葉樹林の再生はどうやって進め、広葉樹材の活用にどのような可能性があるのか議論する。

3 日程

令和 7 年 9 月 5 日（金）13:30～16:30（開場 13:00）

4 会場

情文ホール 6 階 オンライン併用（Z o o m）

5 参集範囲

市町村・県・森林組合等

6 内容

○発表

- ・里山広葉樹林の利活用を通じた再生に向けて
（株）モリアゲ 代表 長野麻子 氏
- ・里山広葉樹林の更新と利用
富山県西部森林組合 代表理事組合長 森松 亮 氏
- ・神奈川県における広葉樹材利活用に向けた取組
神奈川県県央地域県政総合センター森林保全課 松崎 加奈恵 氏
- ・地域に密着した広葉樹の木工
木工アトリエ森侖舎 渡邊 聡夫 氏

○パネルディスカッション

テーマ【広葉樹林再生、広葉樹材活用】

ファシリテーター：（株）モリアゲ 代表 長野麻子 氏

パネラー：

富山県西部森林組合 代表理事組合長 森松 亮 氏
神奈川県県央地域県政総合センター森林保全課 松崎 加奈恵 氏
木工アトリエ森侖舎 渡邊 聡夫 氏